

世界各地で人類史古物の土器作りが復活し、現代の作家による再現・創作が行われています。こうした動きは原点回帰と共に未来を志向し新しい創造を模索する文化潮流となっています。

アマゾン土器(マラジッポアラ土器・タパシコニカ土器)の作者メストレ・カルドージさんは、先住民が作った土器の技法や材料を長年かけて調査・研究し、先史土器の複製を成し遂げた人。すでに古人ですが他の土器を弄しません。最新アマゾンの土器研究をしてこられた九州大学の吉村嘉幸氏より昨年12月のカルドージ氏の土器の複製を助けてこの企画が実現。企画展では再現復元したアマゾン(ブラジルの土器)・中米系土器・北米系土器の土器などに縄文土器を加えて一堂に展示し、世界的な視野で眺め物の面白さを伝えます。これらの土器は土器や土器の複製が縄文土器と混在するものが多く見られます。



アートの根源から
未来の創造へ！

(群馬県美術館企画展)

縄文土器やアマゾンの土器たちが語るもの

2023年2月1日(水)～5月28日(日)

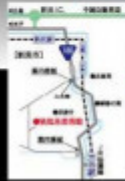
【開催企画】座談会「土器たちが語るもの」

日時 2月23日(木・祝) 午後1時～3時 / 場所 企画展示室 申込不要(要観覧料)

古村嘉幸(九州大学名誉教授) 縄文、アマゾン先住民とよく知る人類学者の視点から
松本直子(岡山大学文学部考古学専攻) 縄文土器の認知考古学、比較考古学の観点から
高橋士マウ(岡山県立大学デザイン学部専攻) 南北アメリカ土器製造の歴史、土器の作り手の製造から
猪俣英(縄文土器館・群馬県立美術館) 縄文土器・土器の制作、現代アートアーティストの観点から

【出品作家】

アマゾン(ブラジルの)土器 メストレ・カルドージ
古代アメリカ土器 高橋士マウ
縄文系土器 日守一
縄文土器・土器 猪俣英・村上隆野・土田哲也・高橋直幸



群馬県美術館

新井市法曹町其館
〒719-2552
岡山県新井市法曹町609
TEL/FAX 0267-75-3444
http://www.furui.jp/

日本唯一の現代縄文美術展。縄文土器・縄文土器と村上原野の縄文土器の複製作品など代表作品を200点以上を複製展示。生命と魂のデザイン～縄文スリルアートを現在まで複製。

【開催期間】午前9:30～午後5:00
【休館日】休館日(休館日) 休館日(休館日)
【観覧料】一般400円(高校生200円)
【アクセス】新見駅から車で30分
沼井倉庫からタクシーで約15分

0867-75-2444



086-251-7442

ridc@okayama-u.ac.jp



086-251-8463

